

ハローワーク宇治 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・雇用失業情勢の改善が進み、当所の有効求人倍率が京都府内で最も高い状況が続く中、令和元年度においても「管内求人への充足強化」を最重要の取組と位置づけ、管内の2市2町及び商工団体と連携して、年間計16回の会社説明会を開催し、人材不足解消に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ハローワークシステム刷新に伴う庁舎のレイアウト変更にあわせ、求人情報の提供方法を、求職者の待合スペースの壁面を活用し、自然に求職者の目にとまるよう、集中かつテーマごとの掲示を行うよう見直しました。
- ・職業相談部門全体を「生涯現役支援窓口」と位置付けて、高年齢者を対象とした求人情報誌の発行（月2回）、シニア面接会の開催（月1回）等、高年齢者の就職促進に取り組みました。
- ・事業所訪問の際は、当所の事業所部門で充足データを取りまとめたリーフレット「どんな求人が充足しているの？」を求人者に配付し、求人・求職状況、条件の相場など、求人条件の設定に役立つ情報の提供を行いました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ハローワークシステムの刷新により、「真に支援が必要な方」へ担当者制を積極的に導入し、マイページを活用した積極的な情報提供やプラス2サービス（応募書類添削・模擬面接）等、サービスの充実及びきめ細かな就職支援に取り組めます。
- ・効果的なマッチングを実施するため、事業所訪問の機会を有効に活用し、会社案内（パンフレット）等の「画像情報」、「会社訪問レポート」の収集のほか、事業所状況の把握など総合的な情報収集を行い、相談窓口、求職者の待合スペースを活用した展示コーナー等により、求職者への求人票以上の情報発信を行います。

（4）その他業務運営についての分析等

- ・管内においては、昼間人口と夜間人口において相当数の流入超過に陥っている地域があり、求人倍率が6倍を超える状況となっています。そのため、これまで開催してきた「会社説明会」の在り方について再検討を行い、より広域的な地域の方を対象としたものにしていく必要性が認められることから、令和元年度に他所及び自治体や商工団体と連携した合同面接会を企画しました。結果的には、新型コロナウイルスの影響で面接会は中止となりましたが、令和2年度には改めて、企業選定や時節に沿った特色ある合同面接会となるよう工夫のう

え実施していくこととしています。

- ・令和5年には新名神高速道路が全面開通することで、様々な企業誘致も予定されており、人手（人材）の確保が喫緊の課題となっていますので、引き続き地域の需給調整機関として創意工夫を凝らした取組を展開していくことが必要であると考えています。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	正社員 求人数	正社員 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	マザーズハローワーク重点支援対象者の就職率
実績	2,513	2,596	1,034	30.9%	43.7%	13,777	1,088	224	193	99.0%
目標	2,863	2,836	990	33.6%	43.8%	12,893	1,346	211	140	92.7%
目標達成率	87%	91%	104%	915	99%	106%	80%	106%	137%	106%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率